



大臣官房官庁営繕部設備・環境課

官庁営繕部では、地球温暖化対策をより一層推進していくため、「公共建築物におけるライフサイクルエネルギー管理委員会(委員長:村上周三 慶応義塾大学教授)」の成果であり、空調シミュレーションを行うことができるLCEMツールを活用し、官庁施設の整備・保全指導を進めていくこととしています。

LCEMツールは官公庁施設で使用することを目的としたものですが、民間施設における使用を妨げるものではなく、一般の民間施設の整備・運用においても有効なものと考えられます。

そこで、官公庁施設の地球温暖化対策を推進すると共に、一般の民間施設における地球温暖化対策に寄与するため、このツールを公開するとともに意見を求めていくこととしました。

今回公開するLCEMツールは、標準的な空調システムに対応する仕様(ver.1.0)となっておりますが、今後、関係各方面からのご意見を反映しながら、様々な機器・空調システムに対応させていくとともに、定期的にメンテナンスを行い、随時情報を公開していくこととしています。

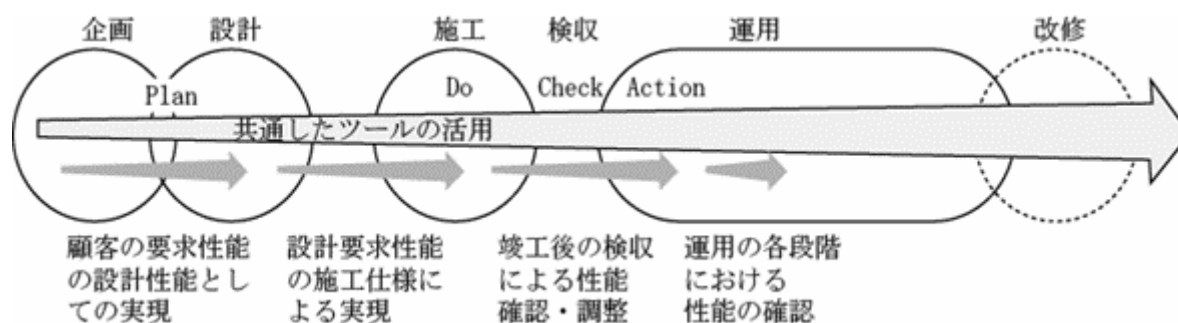
### LCEMツールの提供について

LCEM手法及びLCEMツールについて、皆様からのご意見を募集しております。  
ご意見がございましたら、こちら([mst\\_gbd\\_skk@mliit.go.jp](mailto:mst_gbd_skk@mliit.go.jp))までお送りください。

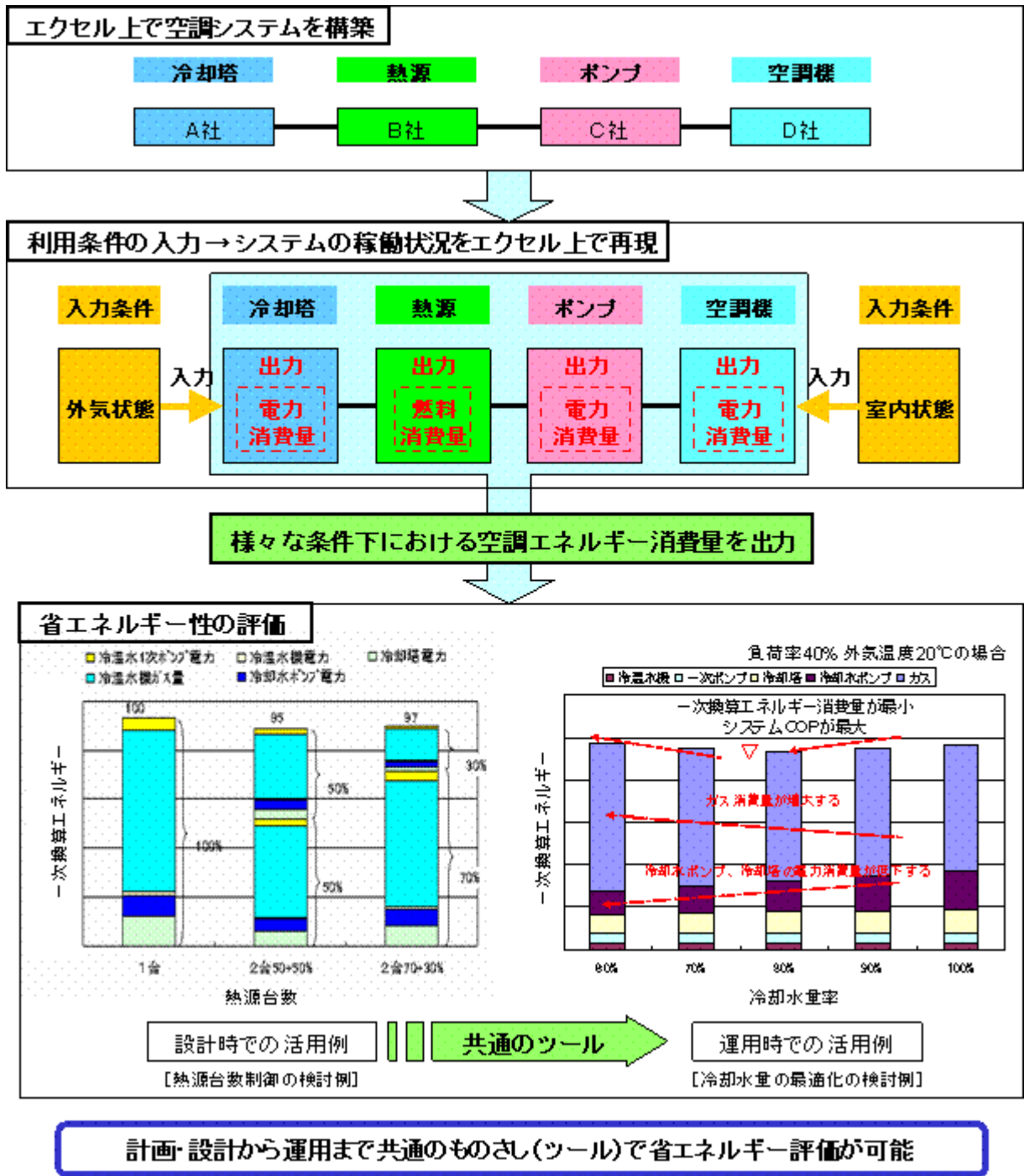
### 【LCEMツールの活用イメージ】

各段階で共有化できるLCEMツールは、空調負荷や建物利用状況に応じて、どのようなエネルギー性能を発揮するかを表現できます。ツールとそこに入力されたデータがその建物の空調設備の「動的な仕様」となり、従来の設計図や仕様書を補完する情報として、顧客の要求 設計性能、設計要求性能 施工後の実現された性能へと引き継がれることとなります。

#### < LCEMの流れ >



< LCEMツールの活用イメージ >



**[参考] 報道発表資料**

[LCEM手法を用いた官庁施設における地球温暖化対策の一層の推進について\(2006.3.29\)](#)

[施策紹介のページに戻る](#)  
[官公庁施設のページのトップに戻る](#)

**LC EMツールは無償で提供しています。  
使用にあたっては、次の事項に同意して頂くことを  
条件とします。**

1. LC EMツールについて

本ツールはフリーウェアですが、営利目的に使用することを禁止します。

2. ダウンロード条件

LC EMツールの配布にあたり、お答え頂いた情報は、次の目的以外使用することはありません。

- (1) 利用者への情報提供
- (2) 配布者数とその職業及び業務の構成の公表

3. LC EMツールの使用にあたって

[動作確認状況]

・ Windows XP、Microsoft Excel 2003がインストールされた環境での動作確認を行っています。

[使用条件]

・ 本ツールの使用によって起こった、いかなる不利益、損害に対しても賠償の義務を負いません。

各自の責任においてご使用下さい。

- ・ ツールの使用方法は、取り扱い説明をご覧ください。

LC EMツールの配布について

LC EMツールは、現在電子メールにて配布しております。上記事項に同意し、ツールの入手を希望される方は、次の事項を電子メールにてご連絡下さい。折り返し、電子メールにてLC EMツール等を送付します。

LC EMツールの現在のバージョン

- ・ LC EMツール Ver1.0 (2006.07.06更新)
- ・ 取り扱い説明 Ver1.0 (2006.07.06更新)

LC EMツール配布希望メールの送信内容

- ・ ご名前
- ・ ご職業
- ・ ご業種
- ・ ご勤務先
- ・ 電子メールアドレス(ツール及び更新情報等の送付先)
- ・ LC EMツール及びLC EM手法に関する情報提供の希望の有無

配布希望メールの送信先は、こちら( [mst\\_gbd\\_skk@mlit.go.jp](mailto:mst_gbd_skk@mlit.go.jp) )まで

なお、当方でメールを確認次第、LC EMツール等を送付いたしますが、到着まで数日を要することがございますので、ご了承ください。また、メール送信後1週間以上経っても、ツールが送付されない場合は、メールが正常に届いていない可能性がありますので、お問い合わせ下さい。